

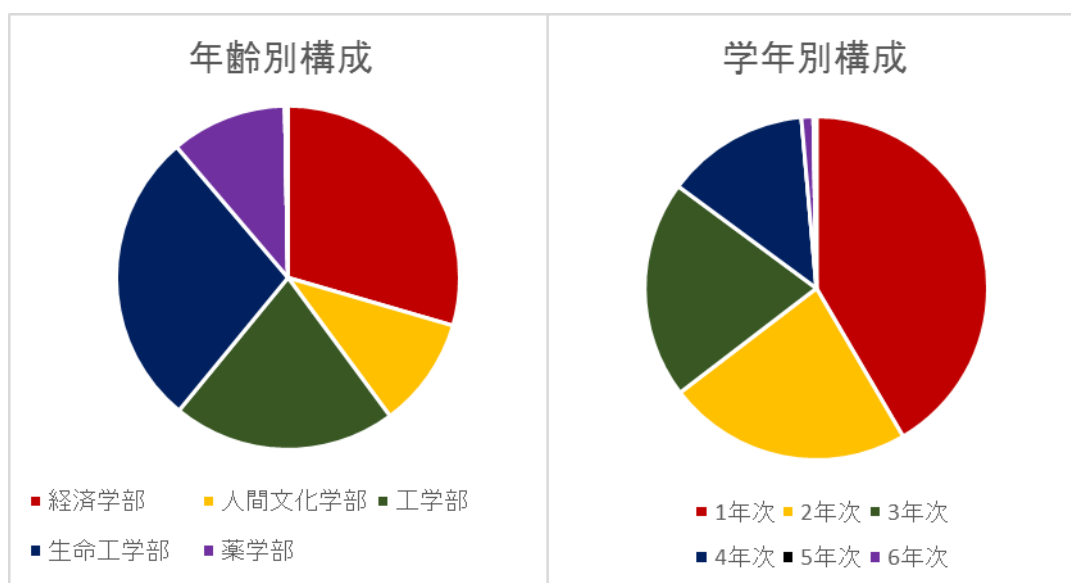
平成 28 年 4 月 27 日  
学生委員会

### 平成 27 年度「学生の要望に関するアンケート」の結果概要

標題の件については、平成 28 年 2 月 24 日～3 月 4 日にゼッソを通じて学生に対しアンケートを実施し、計 356 の回答を得た。回答者の学部別構成（表 1）をみると、経済学部からの回答がやや多いが、全ての学部から回答が得られている（研究科の回答は、工学研究科<生命>の 1 名のみ）。また、回答者の年次別構成（表 2）をみても、1 年次からの回答がやや多いが、全ての年次から回答が得られている（研究科の回答は、2 年次<修士>の 1 名のみ）。

—— 回答者の男女比は、男性 2、女性 1 の割合であった。

（図 1）回答者の学部別・年齢別構成



アンケートでは、各質問項目につき、満足、やや満足、やや不満、不満の 4 段階の評価を回答させるとともに、不満の要因について選択回答および自由記述を求めた。

4 段階評価について、質問項目毎に満足に 4、やや満足に 3、やや不満に 2、不満に 1 を与えてカテゴリー毎の平均評価点をみる（図 2）と、学習施設、アメニティー、移動・交通手段、衛生面、体育・文化施設（サークル活動に係るもの）の全てのカテゴリーについて、平均がやや満足の 3 を上回っている。ただ、各カテゴリーの評価点を比較すると、移動・交通手段および衛生面の評価点が相対的に低い。

(図2) アンケート結果・全体評価 (各質問項目をカテゴリー別に単純平均)



学習施設について詳細にみると (図3)、付属図書館 (本館、別館の各々について質問したが一つの項目として集計) で 3.95 という高い評価点が得られたほか、教室、プロジェクトラウンジ、自習室、ICT 教室の評価点がやや満足の 3 を上回った。一方、学内無線 LAN の評価点は、2.6 に止まった。学内無線 LAN に関し、選択回答では、学内無線 LAN の電波の弱さや速度の遅さを指摘する向きが多かったほか、自由回答では、利用できないインターネットサービスがあることなどが指摘されている。また、「食堂やコンビニにも繋いでほしい」との要望もあった。

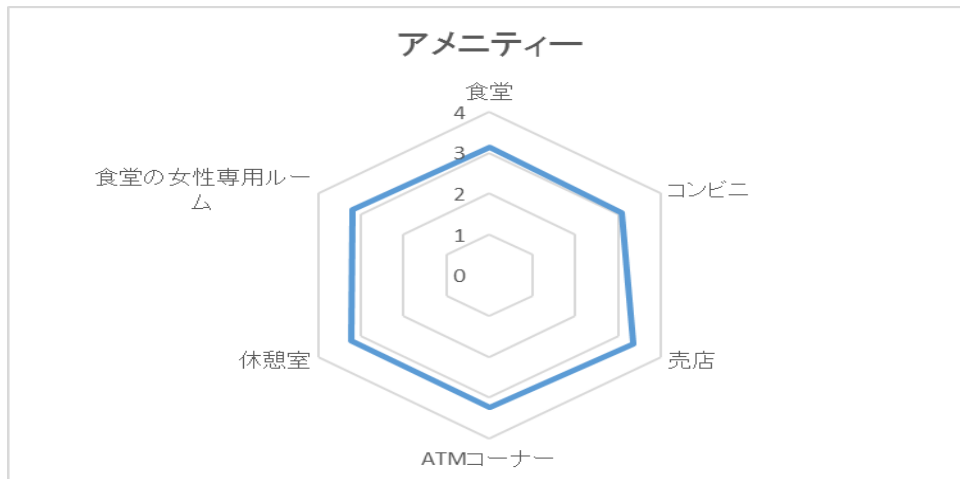
(図3) 学習施設の質問項目別評価点



次に、アメニティーについてみると (図4)、食堂、コンビニ、売店、ATM コーナー、休息室、食堂の女性専用ルーム全てについて、やや満足の 3 を上回る評価点となった。

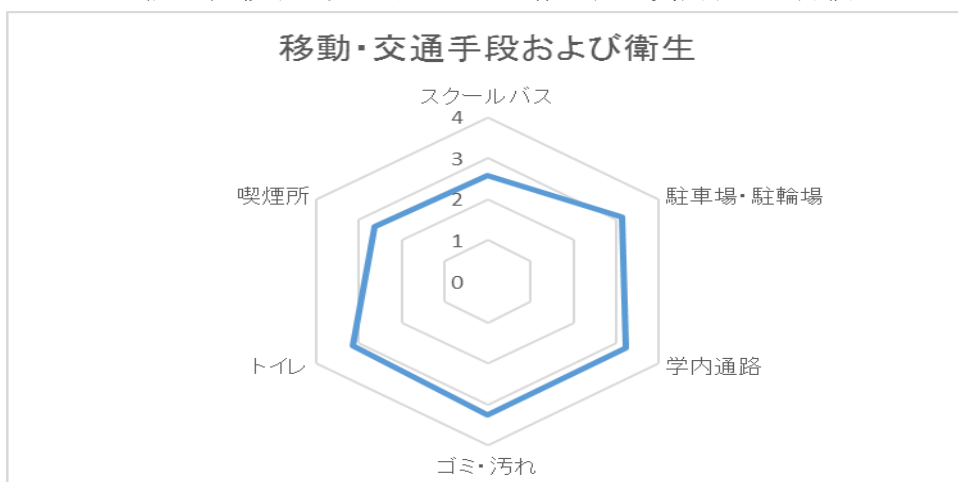
このうち、コンビニの評価点が 3.08 相対的に低い。コンビニに関し、選択回答をみると、商品の種類、レジの数、コンビニの場所に関する不満が多くみられた。この点、自由回答で、「閉店時間を遅くしてほしい」とか、「生命工学部の方にもコンビニがほしい」といった指摘もあった。

(図4) アメニティーの質問項目別評価点



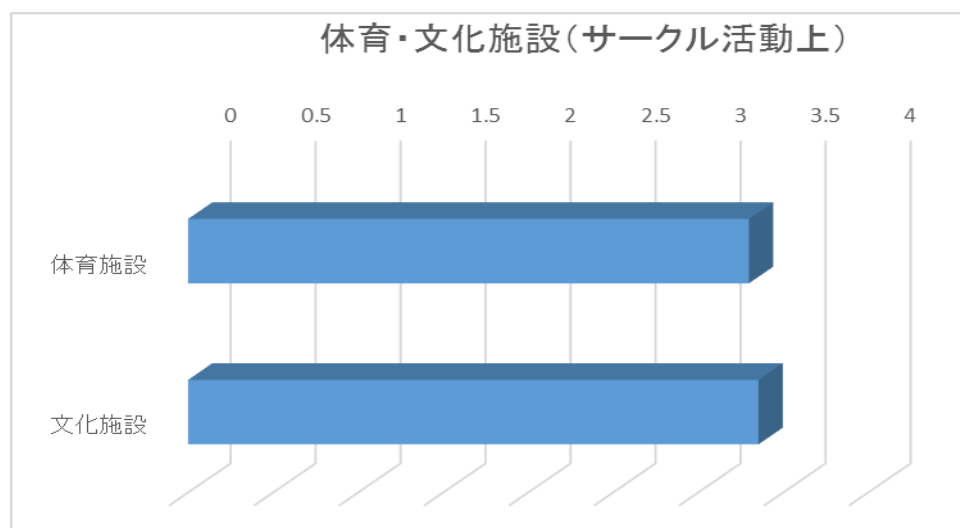
この間、交通・移動手段および衛生面では(図5)、駐車場・駐輪場、学内通路、ゴミ・汚れ、トイレについては、やや満足の3を上回る評価点が得られた反面、スクールバス、喫煙所の評価点が、各々2.59、2.65と、3を下回った。選択回答では、スクールバスについて、定刻前だと乗車定員を超過するまで発車しないことや、便数そのものへの不満もみられた。この点、特に9時以前の便数や午後5時以降の便数への不満が多い。また、JRダイヤとの接続タイミングに係る不満については、福山方面が尾道方面を上回った。喫煙所に関する選択回答では、喫煙所が少ないことと同程度に、喫煙所から臭いがもれていることへの不満がみられた。

(図5) 移動・交通手段および衛生面の質問項目別評価点



最後に、体育・文化施設については（図6）、やや満足の3を上回る評価点が得られている。ただ、選択回答では、球技に関する活動場所が狭いことへの不満や、体育施設のトレーニングルームや文化施設の部室にエアコンが欲しい、との要望が示されている。

（図6）体育・文化施設の評価点



総括すると、平成27年度「学生の要望に対するアンケート」・学内施設アンケートの結果から、全体としては、3以上の評価を得ており、概ね満足していると言える。これは、大学による施設・設備の改善・改修に取り組む努力はもとより、学友会をはじめとして、学生達一人ひとりの努力の成果とみている。

しかし、部分的に見ると、3未満の評価、すなわち満足感を得ている学生が半分に満たないような項目もある。また、不満足と思っている学生が散見される項目もある。そうした学生の思いに対して、対応できるところを厳しく見つけ、ほとんどの学生が、満足できる大学を目指していきたい。

大学生が大切にされ、教職員が大切にされる福山大学、多くの人が来たくなくなるような快適環境の整った福山大学に少しずつでも近づけていきたいと思っている。

以上